

真田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のための月刊フリーペーパー

いきいき♪

活き活き ふるさと通信

第13号 2011年3月15日発行【真田地域に全戸配布】

大きな写真で登場したのは、横尾自治会にお住まいの青木采加（あやか）ちゃん・7歳と、萌加（もえか）ちゃん・9歳です。もうすぐ、ピカピカの2年生と4年生の姉妹です。公文の学習塾（週2回）、ピアノ教室（週1回）、体操教室（週1回）と毎日忙しく、遊ぶ時間がないのが悲しい！ 学校は、友達も先生も大好き!! 学校との往復は約4km！ 心も体も健康になるため、毎日頑張っ

て歩いています。

撮影 スタジオセブン佐藤和雄



2月20日に開催した「みんなのつどい」でのひとこま。左から、荒井自治会にお住まいの飯島さん&嫁がれた娘さんと孫の隼人くん、横尾自治会にお住まいの青木和男さんのお孫さん、上原自治会にお住まいの渡辺さん&安藤さん



【お詫び】第10号(昨年12月15日発行)の表紙・下段左の氏名紹介に誤りがありました。「高村真叶くん」と表記しましたが、正しくは「高寺」真叶くんでした。深くお詫び申し上げます。



真田地区の子どもたち、新成人、還暦、100歳の方の写真を募集中！
掲載無料。お気軽に編集部までご連絡ください。



古き良き郷、人情味溢れる郷 「真田の郷 みんなのつどい」が開催されました

2011年2月20日（日）、真田中央公民館・大ホールにおいて、「真田の郷 みんなのつどい」（3部構成）が盛大に執り行われました。ニッセイ財団高齢社会先駆的事業ワーキングチームを中心とした、「さなだの郷 みんなのつどい」実行委員会の主催で、上田市・上田市教育委員会・上田市社会福祉協議会の後援をいただきました。

会場は、ステージでの催しを楽しむエリアと、真田の随所で活躍されている企業やお店の臨時店舗を開設した販売・試食・体験エリアに分かれ、本紙「通信」の展示や、「スタジオセブン」から佐藤和雄さんにお越しいただいての表紙モデルの撮影会も行いました。



おにかけうどんの試食

11時から行われた第一部では「みんなで楽しく・ふれあい」タイムとして、お越しいただいた方に「おにかけうどん」を試食いただきました。おにかけは、真田の「食生活改善推進協議会」（通称「食改」）の全面協力で、1階の保健センターで食改会員10名の連携によって手間隙かけて作っていただいた一品です。

抹茶&ゆべし&ラスク&甘酒&おやきも登場

また、会場では、お茶会の雰囲気演出した「大福会」による抹茶と和菓子のサービスや、「すが原」名物の“くるみゆべし”、“エキエキスパート珈琲”自慢の“ラスク”、“宮島酒店”の“甘酒”、“入軽井沢館”の“おやき”など多くの商品をご提供いただき、試食・販売しました。



真田で活躍する団体のPR&販売

多方面でご活躍されている「おもちゃ図書館」「真田雁丸屋」「風屋とうふ店」「ほこほコネクト」



にもお越しいただき、活動のPRや商品販売で、会場を盛り上げていただきました。ステージ上のスクリーンでは、「真田寿司」の箱山照夫さんが撮影した数々のUCVニュースの中から、真田地域の懐かしい映像を提供いただき、約2時間上映いたしました。



第二部 常田軍三さんの講演会



第三部 ミュージカル
 劇団 ACT MAFIA TOKYO BOWZ



感動の一日でした。大河ドラマが実現した暁には、農民の老婆役として、自慢の農民顔の息子と2人でエキストラとして出演したいです。(赤井自治会在住の轟さん親子)

真田三代の思いに浸る・・

第二部は「温故知新みんなで歴史に学ぼう」をテーマに、真田氏研究家の常田軍三さんが講演を行いました。「真田心を考える一真田町の先人の思いに触れて一」という演題のもと、資料をご準備いただき、真田三代（幸隆・昌幸・幸村）を中心に、当時の世情や人情を含めて非常にわかりやすくお話いただき、客席が一体となる講演会となりました。

この日のためのオリジナルミュージカル！

トリを飾る第三部は、真田に拠点を置き全国で活躍されている「劇団 ACT MAFIA TOKYO BOWZ」によるミュージカル！ 演目は、この日のために製作していただいた「六文銭の片隅で～11人目の真田十勇士～」です。前々日からステージの設営や音響・照明などをセッティングしていただき、当日は、光と音の演出がミュージカルの感動とともに会場を魅了しました。



多くの方々にご協力いただき、真田の郷「みんなのつどい」にて皆様をお迎えし、無事に終演することができました。来年の開催に向けて、皆様のご意見やご感想をいただければ幸いです。最終ページ下段にある「編集部」宛にお電話、ファックス、メールなどでお寄せ下さい。

御礼

真田傍陽線廃線記念展示会

来年で廃線 40 周年を迎える「真田傍陽線」。第 2 回目となる今年の展示会にも、多くの方々にご協力いただきました。今回の展示期間は 2 月 10 日から 3 月 1 日まで、Saan で行われ、延べ 100 名ほどのご来館を記録しました。

ありがとうございました！



民話・伝説の里をたずねて【1】

文／若林幸正（通信員 NO.49）

安智羅様

◎角間自治会



角間区民に「安智羅様」と親しまれ、尊敬されている氏神が松尾古城のふもとに存在している。この安智羅明神に関する民話がこの里に伝わる。

幸隆に手ごろの美しい姫がいた。戦いから帰って、姫をみると幸隆は疲れがとれ、癒された。ところが、この姫をみそめた角間の山の天狗が、幸隆の留守のあいだに、夜毎に通っていた。そのうちに、とうとう玉のような男の子が生まれた。

長い戦いをおえて帰った幸隆は、これを知っておどろき、ずかずかと姫の部屋へ行き、生まれて間もない赤ん坊の首を

つかまえて、庭に放りつけた。

すると赤ん坊はピョコンと立って、幸隆の方をみてニッコリ笑っておじぎをした。なんと思われたか、幸隆は、前よりもっと遠くへ放り投げた。それでも、男の子はピョコンと立ち、ニッコリ笑った。とうとう幸隆はこの不思議な子が、かわいくなり、縁側にあぐらをかき、男の子をひぎにのせて自慢した。そして戦いのたびに幸隆が愛用していた十文字の槍をこの子に与えたという。

この男の子が、のちに天下に名高い「真田幸村」と伝えられている。

ひとくちメモ

- ◇安智羅明神の所在地
真田町角間自治会
- ◇例祭
毎年秋
- ◇安智羅像
幸隆の18歳頃と伝えるが、民話・伝説集では昌幸、幸村の説と変わる
- ◇安置場所
本来安智羅明神であるが、現在角間公民館内で保存

▼安智羅明神

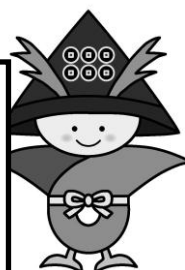


★広告募集中★

3か月 3,150 円（税込）

3か月 6,300 円（税込）

かり丸くん



真田グッズ

真田^{かり}雁丸屋

詳しくは

かり丸くん 又は さくらゆき

で 検索 (Tel.0268-23-7313)

カントリーハート

真田町本原 1967-33

TEL 72-4922

静かな住宅街の一角に広がるメルヘンの世界！店主の石井清恵さんがカントリー小物に目覚めたのは、18年前に1冊の本と出会い、“こんな世界もあるんだ”と思ってから。自宅で飾って楽しんでいた小物をトレーラーハウスに飾り、7年前「カントリーハート」を開店、その後、現在の場所に移りました。

海外の商品は、仲介業者やメーカーを通じて取り寄せ、また、個人作家から委託で預かっている作品もあります。年に2～3回は、長野県内の店のオーナーたちが集まるイベントがあり、それをきっかけにお客様が長野市や千曲市、遠くは新潟県からもおいでになるとか。

店名の由来をお聞きすると、「小さな布切れ



を大切に集めてキルトにし、小さな木も大切に扱うという、物を大切につなぐアメリカンカントリーの気持ちに惹かれたので」とおっしゃっていました。

石井さんのご主人は、田舎暮らしを夢見る方の応援をすべく「カントリーハウス 21」という不動産会社をお持ちです。ふるさと通信の第5号（2010年7月15日発行）の「今月のクローズアップー真田中サッカー部外部コーチー」にもご登場いただきました！

【ご報告&ご協力をお願い】

「アザレアンさなだ」創立20周年に向けて

旧真田町長 箱山好猷

世の中はまさに超高齢社会の真ただ中にあり、誰でも年とともに体の機能は衰え、いろいろな障害が出て、多くの方が介護の必要な状態になってきます。真田では、超高齢社会の到来を見越した町の募集に応じて、佐久市内の黒澤病院院長故黒澤正憲先生が「アザレアンさなだ」を開設「生まれ、育ち、暮らしてきた地域のなかで安心して老いられる町作り」を掲げ、長野県内初の高齢者グループホーム「曲尾グループホーム」をはじめとして、各小学校単位にグループホームや宅老所を開設し、いまでは旧真田町が厚生労働省のモデルになるほど、高齢者福祉が充実した町となりました。

平成24年春に「アザレアンさなだ」が創立20周年を迎えるにあたり、「アザレアンさなだ」の敷地内に黒澤正憲先生の胸像を建設して功績をたたえとともに、創設者の心を長く職員の皆様に引き継いでいただきたいと思います。有志一同で準備会を立ち上げました。地域の皆様にご報告するとともに、後日のご協力をよろしくお願い申し上げます。

読者の交差点



▼ふるさとのお年寄りたちがお元気で生き活きと過しておられる様子が伝わってきます。また、11号をお読みになった傍陽の方から、城下町ウォークのご紹介をいただきました。いろいろご配慮いただき感謝しております。

（東京真田町の会 山口元彦さん）



日替りランチ 600 円《コーヒー付 700 円》数に限りがあります。
軽食(カレー・ピラフ等)やスイーツもごさいます。
TEL (0268)72-8100 定休日・日曜日
11:00 ~ 17:00 (ラストオーダー16:30)

◇◇求む！こんな物件◇◇

「郊外の物件」、人里離れた場所大歓迎！

「こんなとこ売れないよ。」という場所でも人によってはそこが憧れだったり…
カントリーハウス 21 は田舎暮らしを夢見るお客様のお手伝いをしております。

↓お問い合わせはこちらへ、お気軽にどうぞ↓



真田町本原 1967-33(担当:石井)
いきなりホットライン:080-5108-9701

ホームページは、<http://ch21.naganoblog.jp/>

おらが 1番!

真田に住む方々の“プチ自慢”を聞く ◆第14回◆

やまぎし なおあき

山岸 尚明さん（曲尾自治会在住・51歳）をインタビュー!!!

私は、イベントなど人がたくさん集まっているところへ行くのが大好きです。たぶん真田町の中では断トツで一番じゃないか、と周りから言われています。真田町には10年前から住むようになりましたが、それまではほとんどそういったところには行っていませんでした。あまり好きじゃなかったです。自分が変わったのは、真田には心優しい人たちがいっぱいいるからじゃないかと思っています。

この冬は何度も雪が降りました。私は毎朝5時前に起きるので、雪の日には雪つきで家の周りの道路すべてを除雪しています。ご近所の皆さんからは随分感謝されていますが、一番嬉しいのはそういったことができる私自身だと思っています。



一緒に真田のまちを再発見しませんか？



身近な情報を編集部へお寄せくださる通信員を募集しています！

詳しくは編集部まで

現在の通信員
55名

★サポーターの声★

3月19日に下横道にて「お産の神様」のお祭りがあります。夜からは公民館で“お念仏”を行います。地元の小さなお祭りを少しずつご紹介できればと思います。（通信員No.50 堀内浩子）

新たな通信員のご紹介

（2011年3月7日現在、敬称略・順不同）

(53) 渡辺行子 (54) 田中千明
(54) 安藤恭子 (55) 田中みち

編集後記 ●2月20日の真田の郷「みんなのつどい」は、皆様の力をお借りして素晴らしいイベントとなりました。同時開催の「真田傍陽線廃線記念展示会」も個人所有の珍しい物品を多くご提供いただき、懐かしい展示会になりました。真田の人々の輪が今後も広がりますように。[田中晋]

●3月に「シンポジウム」を予定しております。是非大勢の方のご参加をお待ちしております。一緒に地域づくりを考えましょう。[田中文字子]

ニッセイ財団高齢社会先駆的事業「ハイブリット・ケア(地域分散型サテライトケア)の展開と新たな地域づくり」とは

社会福祉法人恵仁福祉協会(高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ)では、平成21年10月26日からニッセイ財団より助成金を受け、標記事業を始めています。子どもからお年寄りまで、また地域で商売や活動をしている人たち全員の“いいとこ取り”をして元気に暮らせる真田の郷にしようという活動です。通信の発行もその一環です。

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」編集部

事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内

〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111

TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail kawaraban@ued.janis.or.jp

ホームページ http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2011年4月15日の発行です。